

「憲法改正」に向けての動きが急です。前号でお知らせしたように、自民党は新しい憲法草案を準備し、4月28日までに策定するもようです。「産経WEBニュース」(「憲法改正」で検索)から、記事を掲載します。

[注編]

### 自民党大会 憲法改正通じ反転攻勢を

自民党の谷垣禎一総裁が、党大会で「自民党は憲法改正を党是とする政党」と改憲を強調し、日本が主権を回復したサンフランシスコ講和条約発効から60年となる今年4月28日までに、新たな憲法改正案を策定する考えを表明した。

### 自民、衆院選に向け基本姿勢まとめる。憲法改正で保守回帰でも公明とは溝深まる?

自民党は1日、憲法改正などを盛り込んだ次期衆院選マニフェスト(政権公約)の柱となる「党の基本姿勢」をまとめた。憲法改正を具体化するため、党憲法改正推進本部(保利耕輔本部長)は2日の役員会で天皇を「元首」とする憲法改正原案を了承する。次期衆院選を見据えて、保守層を軸にした基盤固めをするとともに、民主党との差別化を図るのがねらいだが、集団的自衛権の行使容認などに反対する公明党との協力関係に影響が出ることを懸念する声も出ている。

「国際社会の中で自らの国を自分たちで守る自立の表れだ」。谷垣禎一総裁は1日の記者会見で、基本姿勢の方向性についてこう説明した。

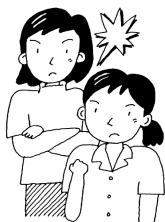
次は、石原都知事の2012年2月の発言です

### 「憲法、改正より破棄を」 石原慎太郎知事

東京都の石原慎太郎知事は21日、都内で開かれた都議会自民党の「新春のつどい」に出席し、憲法について、「自民党に頑張ってもらって破棄したらいい。改正しようとする、国会の議決がある」などと述べ、改正よりも破棄すべきだとの見解を示した。

石原氏は「占領軍が一方的につくった憲法を独立を果たした後ずっと守っている国がありますか。こんなばかかなことをしている国は日本しかない」と強調し「自民党がもう一回政権とって、『憲法を破棄しようじゃないか。それで出直そうじゃないか』と言ってもらいたい」と自民党を応援。

また、「自民党がもうちょっとしっかりしてもらわないといけない。これまでアメリカの妾できたけど、つぎは中国の困われ者になりますよ。命がけで頑張らないと」と訴えた。



## おがわ町九条の会 憲法記念日 記念講演会

# 九条・震災・原発

### ～原発から100kmの地で子どもたちと生きる～

片岡さんは「さようなら原発 3.11 小川町のつどい」にメッセージをお寄せいただいた、福島県でご活躍中のお母さんです。おがわ町九条の会会員長尾愛子さんのご友人で、今回縁あって、小川町にお招きして、お話を伺います。どうかたくさんの方々のおいでをお待ちしています。(入場無料)



## 講師：片岡輝美さん

日時 5月20日(日)  
午後1時半開会

場所：図書館視聴覚室



### 片岡輝美(かたおか てるみ)さんプロフィール

1961年福島県郡山市生まれ。会津放射能情報センター代表、九条の会・西栄町学習会世話人。85年結婚を機に故郷会津若松へ。家族は夫(片岡謁也・牧師)と26歳から16歳の4人の息子。昨年長男が結婚し、初めて娘を持つ。2005年、同市で九条の会を結成し「自分のことばで平和を語る」をモットーに学習会やピースウォークなどを企画。これが放射能から子どものいのちを守る会・会津放射能情報センターの前身となる。同センターは「数値と人の思いの情報収集と発信」を掲げ「あなたをひとりにしないために」日々活動を重ねる。昨年福島市で行われた「10・30 Fukushima 県民集会」の呼びかけ人のひとり。(ネットで「片岡輝美」と検索。上の写真は「なくせ!原発 10・30福島 集会」で挨拶する片岡さん(youtube)です。



1月、「おがわ町九条の会新春のつどい」で好評を博した、アローンシアター谷英美さん「金子みすゞ物語」・・・「あの感動をもう一度!」参加者のみなさんのご要望にお応えして、谷さんのひとり芝居『空のかあさま』を観る会が発足しました。ご案内を頂きましたので、ご紹介します。

- 日時 2012年6月16日  
(土)開演 14:00  
(開場 13:30)
- 場所 パトリアおがわ  
(小川町腰越)
- 入場料 大人 2,000円  
高校生以下・障がい者  
1,000円
- 主催  
小川町『空のかあさま』を観る会
- 後援 小川町 小川町教育委員会

■問い合わせ先  
小川町『空のかあさま』を観る会  
富田和朗 ☎ 0493-73-0291  
「アローン・シアター」  
☎ 090-6147-4160



## 今こそ学習を

ご一緒にお出かけになりませんか。ご希望の方は事務局までお申し出ください。

### 講演

#### 9条をめぐる動きと政府の憲法解釈 ——米軍基地、武器輸出、国会の憲法論議

浦田一郎 (うらた いちろう)  
1946年生まれ。憲法学。1974年、一橋大学大学院法学研究科中途退学。山形大学助教授、一橋大学教授を経て、現在、明治大学教授。主たる著書には、『シーエスの憲法思想』(勁草書房、1987年)、『現代の平和主義と立憲主義』(日本評論社、1995年)、『立憲主義と市民』(信山社、2005年)、『自衛力論の論理と歴史』(日本評論社、2012年5月刊行予定)

#### 9条、「同盟」、沖縄の相関

明田川融 (あけたがわ とおる)  
1963年生まれ。法政大学で博士号取得。政治学。法政大学等非常勤講師。著訳書『安保条約の論理：その生成と展開』(柏書房、1999年、共著)、『各国間地位協定の適用に関する比較論考』(内外出版、2003年、共著)、『沖縄基地問題の歴史：非武の島、戦の島』(みすゞ書房、2008年)、ジョン・W・タワー『昭和：戦争と平和の日本』(みすゞ書房、2010年、監訳)

日時: 6月9日(土)  
13:30~16:30 (開場 13:00)  
会場: 韓国 YMCA 地下ホール  
(JR 水道橋駅より徒歩10分 地図参照)  
参加費: 1000円  
主催: 九条の会事務局  
東京都千代田区西神田 2-5-7-303  
TEL 03-3221-5075 FAX 03-3221-5076  
<http://www.9-jp.jp/>

予約は不要です。当日、直接会場においでください。  
定員は 250名です。

## 九条の会 発足8周年 学習会

# 9条をめぐる動きは、いま

東日本大震災から一年。原発事故や地震、津波の災禍は未だに収束しておらず、多くの人が苦しんでいます。にもかかわらず、これをよそに国会では憲法審査会が開始し、民主党や自民党、およびその他の各政党の動きのなかで、改革が声高に叫ばれています。また政府は、武器輸出三原則を変更し、普天間基地の名護市辺野古地区への移設に固執しています。そこで事務局では「情勢学習会」を企画しました。ぜひお誘いあわせてご参加ください。

東京千代田区猿樂町2-5-5